

プロジェクト科目 議事録

2006年 7月 3日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 C	学生 ID -
日時	2006年 7月 3日 (月) 10:45 ~ 12:30
場所	寧静館501
議題 ・ 謡曲のパート・体験ブースの具体的進行の決定 ・ 紙芝居についてのアドバイスと装束について	
参加者 A、C、E、H、T、TA  ゲスト：観世流能楽師 a、金剛流能楽師 a	
記録 今回のWSの謡曲が『賀茂（加茂）』に決定したことを説明。 金剛流能楽師 a は快く承諾したが、観世流能楽師 a は少し難しいのでは、と難色を示した。  観世流能楽師 a ) もう少し長い練習時間を設けることができるのであれば可能であるが、30分程度の時間では、能に「触れる」だけになってしまう。また、今回のWSのコンセプトがまだ見えてこない。能の触りだけでよいのか？それとも、しっかりと教えるべきであるのか？  観世流能楽師 a ) 体験ブースだけでいい。発表会はいらないのでは？2時間の中に盛り込み過ぎではないか。  A ) 最終的に、方法は検討中だが児童には自分達から何か発信できるようになって欲しい。発信は秋冬メインになるだろうが、春に知識をつけて秋冬に発信と分けるのではなく、今回のWSでも児童が発表という形で発信できる機会を設けたい。  また、金剛流能楽師 a ・観世流能楽師 a の意見をもとに、下記のように今回の体験ブースの構成が決定した。  観世流：舞 12名 (Aグループ)、謡 12名 (Bグループ) 金剛流：舞 12名 (Cグループ)、謡 12名 (Dグループ)	

太鼓：観世流と共に発表をする太鼓 6 名（E グループ）

金剛流と共に発表をする太鼓 6 名（F グループ）

※発表会は①観世流＋太鼓（A, B, E グループ）、②金剛流＋太鼓（C, D, F グループ）の 2 回行う。

《各グループの当日の動き》

	A, D, E グループ	B, C, F グループ
13:00		開会式
13:10	体験ブース	展示ブース
13:40		移動
13:45	展示ブース	体験ブース
14:15		移動
14:20		リハーサル
14:30		移動
14:35		発表会（①、②の実演時間は各 1～2 分）
14:45		閉会式

※ 観世流の練習場所は舞・謡ともに 1 階多目的室、金剛流の練習場所はともに 2 階家庭科室を想定しているが、各教室の広さが異なるため、舞は多目的室、謡は家庭科室など、ブースを流儀ごとではなく体験の種類ごとに設置することも考えられる。

※ 今回は移動時間を 5 分として時間配分を考えた。

※ 発表会時、児童が舞いやすいようにするため、アリーナの床に動き方の目印としてテープを貼って動線とすればよいのでは、と観世流能楽師 a から提案があった。

上記の内容で金剛流能楽師 a ・観世流能楽師 a 共に了承を得た。

《今後の問題点》

・浴衣は参加の条件として着用を強制するのか？

観世流能楽師 a) 浴衣を強制にすると、少なからずクレームが出る。広報資料に浴衣姿の児童の写真を掲載し、「服装は自由」と記載してはどうか。

・足元はどうするか？

足袋を全員分用意するのは難しい。また、足袋を履く練習が必要になるため、時間もかかる。上靴をはいたまま演技をしてもらうのか、それとも靴下になってもらうのかを決める必要があるが、靴下で参加してもらうほうが、指導する側としては教えやすい。

・紙芝居ブースと展示ブースの兼ね合い

観世流能楽師 a、金剛流能楽師 a) 短い時間で紙芝居を 3 本も見せると、児童はそれら

の物語を別々の物語として捉えることが難しい。また、能というものはストーリー性がないので、ただ物語のあらすじを紙芝居にただけでは能を理解できるとは言いがたい。もっと、能の伝統としての重みを強調すべきである。展示ブースではただ見せるだけではもったいない。大切な装束なので、ただ見せるという目的では貸せない。貸すためには「先人たちから伝えられてきた柄、折り方、色、保管や手入れの仕方」など能装束と織物産業とのかかわりや、「伝統を受け継ぐ」ことの重みといった深い説明が必要である。

\* 装束の展示、紙芝居のあり方については、今後さらに話し合う必要があるため、保留。

・装束を展示する場合の展示方法

観世流能楽師 a) に衣桁をお借りできるか尋ねたところ、都合上お借りできないとのことであったので、今後、解決策を早めに見出す必要がある。

衣紋かけはお借りできそうなので、小学校側に衣紋かけを吊るすためのフック、ワイヤー、カーテンレール等の設備はあるか、といった確認を早急に行う必要がある。

・扇の手配について

扇を人数分手に入れるには、費用がかかりすぎる。

金剛流能楽師 a) 以前 100円ショップに、扇に似た小ぶりの扇子があった。それなら児童が持っても大きすぎず、壊すことを考えても惜しくないのではないか。また、WSに参加するメンバー全員が持つことができる。

\* Cが100円ショップに確認に行くことになった。

・能楽師の小学校下見について

能楽師の方々に、小学校を下見していただいて、体験ブースに必要な広さの教室が確保できるか、などを確認していただくことになった。

金剛流能楽師 a) 7月11～13日は空いている

観世流能楽師 a) 12日夕方、13日13:00～15:00なら空いている

\* 小学校に対する設備および下見日程の問合せはDが担当し、日程が決まり次第、金剛流能楽師 a、観世流能楽師 a に連絡する。